

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	成果	コスト			
事務事業名	鍋田ふ頭道路(進入)整備事業	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7921 工事課、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	鍋田ふ頭と背後の広域幹線道路を結ぶ道路			事業 期間	平成9～27年度 (1期線:平成9～24年度) (2期線:平成22～27年度)
	意図(どうい う状態にしたいか)	新たなアクセス道路を確保し、物流の効率化と利便性の向上、ふ頭内の車両の渋滞解消を図ります。				
概要	整備場所:愛知県弥富市富浜～鍋田 内容・規模:鍋田ふ頭コンテナターミナルの供用で増加する車両の効率化と利便性を向上するため、新たなアクセス道路を確保します。鍋田ふ頭進入道路(延長約2.3km)は、1期線(2車線)が平成25年3月に開通しました。引き続き、2期線(2車線)の開通をめざし整備を進めます。 総事業費:121億円(平成26年度より155億円から変更)				根拠 法令等	社会資本整備重点 計画法 名古屋港湾計画
事業着手時点の 評価	鍋田ふ頭からの交通量が増加していることから、背後の広域幹線道路網と連携した臨港道路を整備することにより、物流の効率化を図ります。費用対効果(B/C)は1期線が1.2、2期線は鍋田ふ頭プロジェクトとして算出した結果5.5となっています。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
27年度の実施予定	2期線において橋梁上部工及び舗装工を行います。				関連 シート	

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	2期線において橋梁上部工及び舗装工が完了し、平成28年3月18日より4車線で全面供用を開始しました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(平成9年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	1,011,100	857,300	1,270,200	12,143,600	
人件費	千円	3,679	4,493	2,587	10,758	
合計	千円	1,014,779	861,793	1,272,787	12,154,358	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標 27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	82.5	89.5	100.0	100(累計)	事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	
	実績	82.5	89.5	100.0			
	事業進捗状況(27年度)	順調・ やや遅れ ・ 遅れ					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	評価	予定通り事業が完了しました。					
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 鍋田ふ頭と背後の広域幹線道路を結ぶ道路として、利用者ニーズも高く、物流の効率化及び利便性の向上のため、必要と考えております。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 鍋田ふ頭への新たなアクセス道路を整備することは、上位施策である「産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成」に貢献すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 道路整備により、物流の効率化と利便性の向上、ふ頭内車両の渋滞解消などの成果が得られていると考えております。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最小のコストで事務を行いました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			鍋田ふ頭と背後の広域幹線道路を結ぶ延長約2.3kmの道路整備が完了したため。
課題			28年度以降の取組